

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	協働事業の提案支援モデル事業			
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人市民セクターよこはま 関内イノベーションイニシアティブ株式会社		
	行政	横浜市		
事業の目的	条例第 10 条に基づく「市民協働事業の提案」が市民、NPO、企業等の多様な主体によって取り組まれ、市民発意による先駆的で柔軟な発想を活かした地域課題解決や魅力づくりにつながる手法として円滑に活用されていくことを目指し、協働事業の提案を促進するための説明会・講座の提供や情報発信を行う。			
事業の内容	事業説明会・協働事業企画講座の企画及び運営、協働提案に関する情報の収集・提供 等			
役割及び責任 分担等	事業項目	特定非営利活動法人 市民セクターよこはまの役割	関内イノベーション イニシアティブ株式会社の役割	横浜市の役割
	事業説明会	企画・運営	企画・運営	企画・運営、 会場確保、 資料準備
	協働事業企画 講座	企画・運営、 広報チラシの制作	企画・運営、 会場確保、	企画・運営、 会場確保、 資料準備、 申込受付、 受講者への連絡
	協働提案に関する情報の収集・提供・発信	ネットワーク（市民活動団体、NPO、地縁組織等）等を活用した事業周知、市民協働事業の提案に関する理解促進	ネットワーク（企業、社会的企業）等を活用した事業周知、市民協働事業の提案に関する理解促進	ネットワーク等を活用した事業周知、市民協働事業の提案に関する理解促進
実施期間	平成 29 年 7 月 10 日～平成 29 年 12 月 31 日			

【記入日】平成 30 年 3 月 9 日

【記入者】

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	吉原 明香、薄井 智洋 045-227-2666
関内イノベーション イニシアティブ株式会社	治田 友香 045-274-8701
横浜市	市民局市民活動支援課 山本 雅子、佐藤 成美 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

① 事業計画段階

		市民セクターよこはま	関内イノベーション機構	横浜市
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。	A	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合って役割分担を決めることができましたか。	A	A	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合ってよく理解することができましたか。	A	A	A
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	—	—	—

② 事業実施段階

		市民セクターよこはま	関内イノベーション機構	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A	A
3	相手に任せっきりせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A	B
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	A	A
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	A	B

③ ふりかえり段階

		市民セクターよこはま	関内イノベーション機構	横浜市
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果を得られたか、話し合って共有できたか。	A	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合って確認することができたか。	A	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A	A

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 特定非営利活動法人市民セクターよこはまが持つNPO・市民活動支援のノウハウ(ネットワーク)と、関内イノベーションイニシアティブ株式会社が持つソーシャルビジネス支援のノウハウ(ネットワーク)を活かすということを3者が共有し、事業の計画を練ることができました。
【今後改善が必要と思われること】 特にありません。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 事業参加者の参加動機や行政に提案したいアイデアの内容を踏まえ各参加者のフェーズやレベルを3者で共有し、それぞれの対象にあわせた講座提供内容を臨機応変に組み立てながら実施することができました。
【今後改善が必要と思われること】 特にありません。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
<ul style="list-style-type: none">・3者それぞれの強みを踏まえて役割分担を設定できたことで、事業周知や実施のすべての段階において、3者の強みが存分に活かされ、単独実施では得られない事業とすることができた。・目的であった「平成30年度市民協働事業提案アイデアブラッシュアップ助成金」への応募につなげることができた。(全申請件数16件中9件が本事業から応募につながったもの)・事業の参加者にとっては本事業により協働事業を行政に提案するにあたっての課題や気づき、マインドを獲得する機会が得られたことで、参加者(団体)自身の成長につなげることができた。
自由記入欄
今回の振り返りをもとに、次年度の事業計画の検討につなげていきます。